

## カプトリル-R カプセル 18.75mg

### 【この薬は？】

販売名	カプトリル-R カプセル 18.75mg CAPTORIL-R CAPSULES 18.75mg
一般名	カプトプリル Captopril
含有量 (1カプセル中)	18.75mg

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」  
<http://www.info.pmda.go.jp/>に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アンジオテンシン変換酵素阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、血管を収縮する作用のあるアンジオテンシンⅡと呼ばれる物質の生成を抑えることで血圧を下げます。
- ・次の病気の人に処方されます。

**本態性高血圧症**

**腎性高血圧症**

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にカプトリル-R カプセルに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・過去に血管浮腫になったことのある人
- ・アフエレーシス<sup>\*1</sup>を受けている人で、デキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコールまたはポリエチレンテレフタレートを用いた吸着機を使っている人
- ・血液透析<sup>\*2</sup>を受けている人で、アクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜(AN69)を使っている人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・アリスキレン(ラジレス)を使用している糖尿病の人（ただし、その他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）

※1 アフエレーシス：患者さんの血液中から不必要な精文を取り除いて、浄化した血液を再び患者さんに戻す方法

※2 血液透析：患者さんの血液を対外へ送り出し、人工腎臓(透析装置)で血液中にたまった老廃物を取り除き、水や電解質のバランスを整え、きれいになった血液を再び患者さんに戻す方法

○次の人は、慎重に使う必要があります。飲み始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・腎動脈狭窄のある人
- ・高カリウム血症の人
- ・腎臓、肝臓に重い障害がある人
- ・造血障害のある人
- ・全身性エリテマトーデス（SLE）などの免疫異常のある人
- ・消化性潰瘍のある人、過去に消化性潰瘍のあった人
- ・脳血管に障害がある人
- ・光線過敏症にかかったことのある人
- ・高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	カプトリル-R カプセル 18.75mg
1日量	37.5～75mg
飲む回数	1日2回

ただし、重症本態性高血圧症及び腎性高血圧症では、1回1カプセル、1日1～2回（18.75～37.5mg）から使用を開始する場合があります。

●**どのように飲むか？**

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●**飲み忘れた場合の対応**

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●**多く使用した時（過量使用時）の対応**

異常を感じたら、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・腎臓に障害がある人やコントロール不良の糖尿病の人は高カリウム血症をおこすおそれがあるため、これらの人では必要に応じて血液検査がおこなわれます。
- ・この薬の飲み始めに一時的に急激な血圧の低下（立ちくらみ、めまい、頭痛）があらわれることがあるので、そのような場合には、医師に連絡してください。特に、次の人は十分注意してください。
  - ・重い高血圧症の人
  - ・血液透析中の人
  - ・厳重な減塩療法中の人
  - ・利尿剤を使用している人（特に最近使用を開始した人）
- ・過去に腎臓の病気になったことがある人や腎臓に障害がある人は蛋白尿があらわれやすいので、定期的に腎臓の機能や尿の検査がおこなわれます。
- ・腎臓に障害がある人や重い自己免疫疾患（特に全身性エリテマトーデス）または免疫抑制剤を使っている人は好中球減少や無顆粒球症があらわれやすいので、これらの人では定期的に検査がおこなわれます。
- ・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるため、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・手術前 24 時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでいないことを医師に伝え、医師の指示に従ってください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。</u></li><li>・ <u>この薬を使用中に妊娠が判明した場合は、ただちに医師に相談してください。</u></li><li>・ 妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。 特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。</li><li>・ 授乳中の方は、授乳を中止してください。</li></ul> <p>薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。 さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬相談センターにご相談ください。</p> <p>《妊娠と薬情報センター》 (国立成育医療研究センター) 電話：03-5494-7845</p>
---

- ・ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血管浮腫 けっかんふしゅ	まぶた・唇・舌のはれ、息苦しい、じんましん



重大な副作用	主な自覚症状
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血しやすい
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはれぼったい、息苦しい、尿がでない、尿量が減る
ネフローゼ症候群 ネフローゼしょうこうぐん	全身の著明なむくみ、尿量が減る
高カリウム血症 こうかりうむけつしょう	唇がしびれる、手足が動きづらい、手足に力が入らない、手足のしびれ、手足のまひ、筋肉が衰える、筋力の減退
天疱瘡様症状 てんぼうそうようしょうじょう	全身の激しいかゆみ、全身の皮膚や鼓膜に生ずる大小の水ぶくれ（水疱）、破れやすい水ぶくれ（水疱）
狭心症 きょうしんしょう	冷や汗、胸がしめつけられる感じ、胸が押しつぶされるような感じ、胸の痛み、胸を強く押さえつけた感じ
心筋梗塞 しんきんこうそく	冷や汗、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、息苦しい
うっ血性心不全 うっけつせいしんふぜん	からだがだるい、全身のむくみ、吐き気、息苦しい、動く時の息切れ
心停止 しんていし	意識がなくなる、呼吸停止
アナフィラキシー あなふいらきしー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸、じんましん、判断力の低下
皮膚粘膜眼症候群 ひふねんまくがんしょうこうぐん	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
剥脱性皮膚炎 はくだつせいひふえん	発熱、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる
錯乱 さくらん	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない
膣炎 すいえん	吐き気、嘔吐、吐き気、胃・おなかの激しい痛み、吐き気、背中での痛み

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、全身の著明なむくみ、全身の激しいかゆみ、冷や汗、全身のむくみ、ふらつき、高熱
頭部	めまい、意識の低下、頭痛、意識がなくなる、考えがまとまらない、意識が乱れる、意識の混乱

部位	自覚症状
顔面	鼻血、ほてり
眼	まぶたのはれ、眼がはれぼったい、眼と口唇のまわりのはれ、まぶたや眼の充血、結膜のただれ
耳	耳鳴り
口や喉	唇のはれ、舌のはれ、歯ぐきの出血、のどの痛み、唇がしびれる、吐き気、しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、嘔吐
胸部	息苦しい、息切れ、動悸、胸がしめつけられる感じ、胸が押しつぶされるような感じ、胸の痛み、胸を強く押さえつけた感じ、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、吐き気、動く時の息切れ、呼吸停止
腹部	吐き気、食欲不振、胃・おなかの激しい痛み
背中	背中での痛み
手・足	手足が動きづらい、手足に力が入らない、手足のしびれ、手足のまひ
皮膚	じんましん、あおあざができる、全身の皮膚や鼓膜に生ずる大小の水ぶくれ（水疱）、破れやすい水ぶくれ（水疱）、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる
筋肉	筋肉が衰える、筋力の減退
尿	尿がでない、尿量が減る
その他	出血しやすい、判断力の低下、陰部の痛み

## 【この薬の形は？】

販売名	カプトリル-R カプセル 18.75mg
PTP シート	 <p>表面</p>  <p>裏面</p>
形状	硬カプセル剤 (3号)
長径	15.8mm
短径	5.8mm
重さ	340mm
色	白色

	(赤褐色帯状のシール有)
識別コード	SANKYO 271

## 【この薬に含まれているのは？】

販売名	カプトリル-R カプセル 18.75mg
有効成分	日本薬局方 カプトプリル
添加物	アスコルビン酸、ステアリルアルコール、トリオレイン酸ソルビタン、ダイズ油、乳糖水和物、ゼラチン、濃グリセリン、パラオキシ安息香酸エチル、酸化チタン、三二酸化鉄、ラウリル硫酸ナトリウム

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：第一三共エスファ株式会社 (<http://www.daiichisankyo-ep.co.jp/>)

お客様相談室

電話：0120-100-601

受付時間：9:00～17:30（土、日、祝祭日、当社休日を除く）